

花祭

奥三河・南信州・天竜水系の 伝統文化を未来に伝えたい！

交流フォーラム

2011年 **参加費無料** 参加人数/150名

11月3日(木・祝)

東栄町「花祭会館」 9:30～16:30
東栄町大字本郷字大森1

「花祭」は、奥三河地方におよそ800年前から伝わってきた伝統の祭で、国の重要無形民俗文化財1号に指定されています。神々を御請し、夜を徹して踊り上げられます。また、南信州では「霜月祭」や「雷祭」という、とても良く似た伝統祭事があります。こうした祭事は地域の人々をつなぎ合わせるために守り継がれてきましたが、過疎化のなかで継続が危ぶまれる地域も出てきました。伝統文化が長らく継承されることを願ってフォーラムを開催します。



霜月祭



霜月祭は、「千と千尋の神隠し」のアイデアになったお祭です。

ぜひ、ご参加下さい。

■ 開場 9:00 開会 9:30

映像上映 「花祭」「三河地方旅行」(1933-34年)
淡沢敏三(民俗学者)が撮影。

シンポジウム

シンポジスト：尾林克時東栄町長
藤田佳久愛知大学文学部名誉教授
伊藤隼男NPO法人ではへ理事長
北設楽花祭保存会 ほか。

ゲスト：霜月祭連合会会長の遠山虎さん
基調スピーチ：藤田佳久さん
コーディネーター：大西克夫
NPO法人ボランティア・ネイバズ理事長

花祭会館にて花祭の歴史や祭具文書の見学

花祭の実演を観覧、講習

タイムスケジュール

- 9:00 開場 「三河地方旅行」上映
- 9:30 開会
- 9:35 「花祭」上映
- 10:00 シンポジウム
- 12:00 昼食休憩
- 13:00 花祭会館見学
(花祭の歴史と祭具見学)
- 14:00 花祭実演の観覧と講習
- 16:30 閉会



「世界無形文化遺産」に登録を！！